

# 記載例

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）**設置**（使用、変更）届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇地域振興局長 殿

〇〇市〇〇

株式会社〇〇 代表取締役

届出者

〇〇 〇〇

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、~~特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇給油所	※整理番号		
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇番地			
第5条第1項関係	特定施設の種類	7 1 自動式車両洗浄施設	法律で決まった名称ですので、このままご記入ください。洗浄ブラシが自動となっているもの、またはスプレー式の自動式車輛洗浄施設に限ります。ガソリンステーション、旅客、貨物運輸業等に係る事業場に設置されているものもこれに該当します。	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		ほとんどが該当しないと思われます。
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	【必要な添付書類】 ・ 特定施設を含む操業の系統図 ・ 汚水の処理系統図 ・ 特定施設の構造図 ・ 汚水処理施設の構造 ・ 特定事業場付近の見取り図 ・ 事業場全体の配置図  ※雨水以外の排水を分流式下水道へ排出させる工場等のうち、有害物質を使用・排出しない工場等については、届出内容を簡素化できますので、旅館業の用に供する施設の「分流式下水道へ排出する場合」の記載例をご確認ください。
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		

	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		
--	----------------------	-----------	--	--

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
  - 9 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	自動式車両洗浄施設 1	任意の名称・番号を記入してください。
特定施設番号及び名称	7 1 自動式車両洗浄施設	様式 1 と同様です
型 式	XX-XXX ○○社製	メーカーの型番など
構 造	鋼鉄製	別紙のとおり」と記載し、カタログや図面等を添付して差し支えありません。
主 要 寸 法	幅○m、奥行○m、高さ○m	
能 力	1往復約○リットル ○台/時間	
配 置	図面のとおり	配置図の添付をしてください。
設 置 年 月 日	○○年○月○日	すでに設置したものについて届ける場合は設置年月日のみを記載してください。
工事着手予定年月日	○○年○月○日	
工事完成予定年月日	○○年○月○日	
使用開始予定年月日	○○年○月○日	
その他参考となるべき事項	同型 3台	同型の施設が複数ある場合には、このように「同型 ○台」という形で省略しても結構です。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	自動式車両洗淨施設 1				
特定施設号番号及び名称	7 1 自動式車両洗淨施設		別紙 1 と同様です		
設置場所	図面のとおり		配置図の添付をしてください。 別紙 1 と共通図面でも可能。		
操業の系統	車進入→洗淨→乾燥				
使用時間間隔	不定期				
1日当たりの使用時間	〇時間 (AM〇時~PM〇時)				
使用の季節的変動	なし				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	シャンプー ○リットル ワックス ○リットル 撥水材 ○リットル		成分がわかる資料がありましたら添付してください。 例：製品安全データシート(MSDS)		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7	8.3	排水の量が合計 50 m <sup>3</sup> /日を超える、または、有害物質を使用するときは、記入が必要となる場合があります。その場合はご相談ください。左記は、一例であるため、実施の汚染状態を予測して記入することが望ましいです。	
	BOD (mg/l)	20	25		
	SS (mg/l)	50	60		
	n-Hex (鉱油類)	5	5		
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	自動式車両洗淨施設から排出される1日当たりの汚水量をご記入してください。		
	3	5			
その他参考となるべき事項	同型 3台		同型の施設が複数ある場合には、このように「同型 ○台」という形で省略しても結構です。		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水を処理するための施設について記載

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	油水分離槽 1				複数処理設備がある場合、この他の種類の汚水処理設備がある場合は、1つずつ欄にご記入ください。				
処理施設の設置場所	図面のとおり				配置図の添付してください。				
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	○年○月○日				年 月 日				
工事完成予定年月日	○年○月○日				別紙1と同様です				
使用開始予定年月日	○年○月○日				年 月 日				
種類及び型式	○○社製 △■-××				「別紙のとおり」と記載し、カタログや図面等を添付するか、欄内に文字で記載いただいても構いません。				
構造	別紙のとおり								
主要寸法	○m×○m×○m								
能力	別紙のとおり								
処理の方式	油水分離								
処理の系統	自動式車両洗浄施設汚水→油水分離→側溝								
集水及び導水の方法	別紙のとおり								
使用時間間隔	不定期								
1日当たりの使用時間	○時間 (AM○時~PM○時)								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	7	5.8-8.6	8.3	5.8-8.6				
	BOD (mg/l)	20	20	25	25				
	SS (mg/l)	50	40	60	50				
n-Hex (鉱油類)	5	2	5	3					
	量 (m <sup>3</sup> /日)	3		5					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	油、約○リットル/月、処理業者委託								
排出水の排出方法	油水分離槽→側溝→○○川								
その他参考となるべき事項	-								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

①複数排水口がある場合は、1つずつ欄にご記入ください。  
 ②公共用水域（道路側溝、河川など）と、事業場排水の接続地点がすべて排水口とみなされます。  
 ③ただし、下水道に接続する排水口は記載不要です。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 1		雨水排水口 1	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH				
	BOD (mg/l)	—	—	—	—
	SS (mg/l)				
	n-Hex (鉱油類)				
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
		4	6	0	0
その他参考となるべき事項		<p>自動式車両洗浄施設からの排水の他に、事業場全体からの排水（手洗い等）があれば、その合計の排水水の量をご記入ください。</p>		<p>雨水のみの排水口の場合は、ゼロとしてください。</p>	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>			
<p>用途別 用水量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水量 (m<sup>3</sup>/日)</p>
	<p>自動式車両洗浄施設 1</p>	<p>上水道</p>	<p>3</p>
	<p>手洗い・その他雑排水</p>	<p>上水道</p>	<p>1</p>
	<p>事務所手洗い・トイレ</p>	<p>上水道</p>	<p>0.5</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

参考事項

資本額	○ 円		従業員数	○人
作業時間	○時 ~ ○時		敷地面積	○m <sup>2</sup>
			建物面積	○m <sup>2</sup>
産業分類 (細分類)	番号	業種名	主要製品	-
	6051	ガソリンスタンド		
貯油施設の有無	※ 灯油のタンクがある場合は「有」		担当者	○○ ○○
担当 部課係	○○課		電話番号	○○-○○-○○

届出に係る履歴

施設番号	届出の根拠	受理年月日	届出の概要
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	以下別紙

付近見取図

(案内図)

主要道から到達できるような地図を付けてください。